

緑のセンターだより

No.140

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel:0166-65-5553 Fax:0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成25年2月1日

講習会のご案内（お申込み・受付は前月の20日から）

「果樹の剪定と栽培」-リンゴ、プラムなどの落葉果樹-

とき 平成25年 2月17日（日）
午後1:30~3:30 定員50名

講師 ふじくらすも果樹園
代表 増茂 聡さん

「春から夏の洋ランの育て方」

とき 平成25年 2月24日（日）
午後1:30~3:30 定員50名

講師 旭川蘭友会 顧問 笠原幸三さん



日ごろの観察で
早めの防除を。



☆ 特別講座 ☆

「植物の病害虫対策」-草花・観葉植物・家庭菜園-

とき 平成25年 2月28日（木）
午前10:00~12:00 定員50名

講師 住友化学園芸(株) 研究開発部
普及グループマネジャー 草間 祐輔さん

〈内容〉 園芸薬品の正しい使い方を薬品の専門家から学べ、
初心者から熟練者にも大変参考になる講習会です。

☆お申し込みの殺到が予想されますので、お早めのお申し込みを。

「NHK 趣味の園芸-病気・害虫の手帳」に記載されている大変人気のある園芸研究家です。

「植物を育てよう」-春作業・花の栽培管理と育苗-

とき 平成25年 3月3日（日）
午後1:30~3:30 定員30名

講師 緑のセンター相談員



歩くスキー無料貸出
10時~4時まで
(2月28日まで)

展示会のご案内（初日は午後から、最終日は4時まで）

「神楽岡公園の四季写真展」2月2日~24日

出展：井原久夫さん

「道新文化センター写真展」3月2日~27日

出展：道新文化センター写真スクール

【休館日のご案内】

4月~10月は第2・第4月曜日が休館日です（祝日の場合は翌日）

11月~3月は毎週月曜日が休館日です（ " " ）



〈園芸の基礎知識〉 家庭園芸の培養土 (2)

～マイブレンド培養土をつくろう～

少し上級者は個別の培養土を作ってみましょう。市販の単品用土をいくつか組み合わせて混合土にします。混合例は植物の種類や水やりの管理、鉢の材質などによって変わってきますが、原土と改良用土、調整用土の組み合わせの例は以下のようなものがあります。ほかに原土の単用や改良用土と調整用土を混合するものがあります。



① 赤玉土+腐葉土 (混合比率は7 : 3)

鉢用土の基本的な組み合わせです。この混合比は多くの園芸草花に利用できます。(調整用土を加えるときは混合比率を赤玉土6 : 腐葉土3 : 火山レキ1にします。)

② 赤玉土+腐葉土+バーミキュライト (6 : 3 : 1)

土をふかふかにして植物の根はりがよくなります。バーミキュライトは排水性、保水性にすぐれて軽いことからハンギングバスケット用にも適します。

③ 鹿沼土+腐葉土 (ピートモス) +バーミキュライト (6 : 2 : 2)

排水性と保水性がよく、さらに酸性の土を好むツツジ類やシャクナゲなど植物に使われます。

サツキは鹿沼土を単用する場合があります。

④ 川砂+腐葉土 (9 : 1)

サボテン用ですが、その他の植物も種類によりそれぞれの組み合わせを作ってください。

表-1 用土の種類

基本用土	原土	黒土、赤玉土 鹿沼土、砂 水ゴケなど
補助用土	改良用土	腐葉土、堆肥ピートモス、くんたん、ヤシガラ
同上	調整用土	火山レキ、川砂 富士砂、バーミキュライト、ゼオライト、パーライトなど

(参考資料：住友化学園芸KK「園芸の基礎知識」)

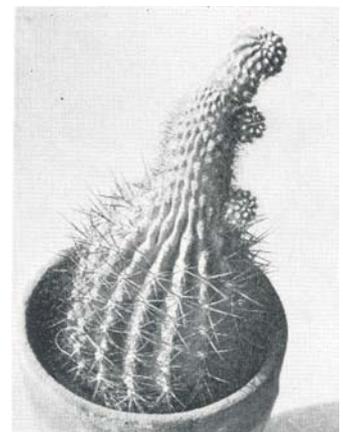
緑の相談 QアンドA (14)

買ったとき丸かったサボテンがだんだん細くなり、柱サボテンのようになりました。育て方を教えてください。

サボテンは砂漠地帯に自生して乾燥や暑さに強いと思われがちですが、夏の激しい暑さや冬の寒さを嫌い、春や秋の気候を好みます。生育は夏と冬は休み、春と秋に生長しますから夏は涼しく冬は暖かくしてやれば年中生育することになります。

一 育て方のポイント 一

- ・ かん水が基本です。生育の盛んな春と秋に鉢土が乾いたら多めに与えるようにし、夏や冬は控え目にして乾燥気味に管理します。
- ・ 使用する鉢は大きいものより、小さめの方が生育が良くなります。
- ・ 植え替えは毎年春に行います。
- ・ 培養土は洗い砂に腐葉土を10鉢位混ぜ、古い根を取って新根を出させるようにします。
- ・ 酸性を嫌うので石灰を加え弱アルカリにします。
- ・ 乾燥気味に育てるとダニが発生しますのでサボテンの肌が茶褐色になってきたらダニ殺虫剤を1～2回散布してください。



※ホームページ (<http://www.asahikawa-park.or.jp>) に「花と緑の相談コーナー(Q&A)」を掲載しています。こちらもご利用ください。

シラカンバ（白樺）

カバノキ科 カバノキ属

本道の広葉樹では、最も多いカンバ類の一種

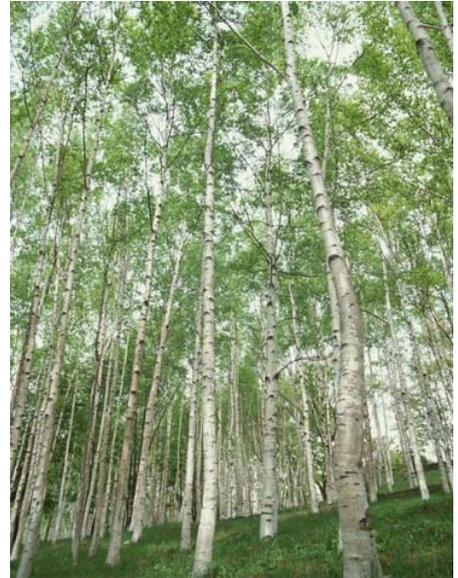
高さ 20~25m、太さ 40~60 cmになる落葉樹で、日当たりの良い所や山火事跡地に最初に生える広葉樹で最も多いカンバ類の一種です。

名前は「白皮」がなまったとされています。

岐阜県以東、北海道、朝鮮、中国、シベリアに分布し、樹皮が白くて目立ち、高原のシンボルとして広く親しまれています。

樹木は庭木、公園、街路樹などに利用されます。木材の材質はやや軽軟で、民芸品の土産物、器具、家具、彫刻、マッチの軸木、パルプ、割り箸、木酢の原料とし、樹皮は煙草入れ、刀の鞘、水桶、に用いるほか、皮なめし用タンニンもとれます。

樹皮は薄く剥げ紙のようになるので、色紙や短冊、書物の表紙にも利用されます。



シラカバ樹液



近年、道内でも早春に採取した樹液は「飲む森林浴」と銘打って、ミネラルを多く含んだ健康飲料水として、製造販売されています。他に化粧品にも利用されており、活用の範囲も広がっています。

シラカンバの透明な樹液には、体に優しい成分の果糖やブドウ糖などの糖分、アミノ酸やリンゴ酸などの有機酸のほか、カルシウム、マグネシウム、カリウム、亜鉛など数多くのミネラルが含まれています。

樹液の採取時期は日中の気温が8℃を超える頃が目安。

3月下旬から4月下旬の樹液が出なくなる時期まで採れます。採り方は幹に孔をあけ、専用のチューブを指し、ペットボトルやポリタンクなどに入れて一晩置くだけです。次の日の朝には2ℓのペットボトル一杯くらいは溜まっています。

樹液は長く保存することが難しく、この時期にしか飲むことのできない貴重なものです。（冷凍保存は可能）

採れたての樹液をそのまま飲んでもよく、紅茶やコーヒーなどに入れるとかすかな甘みが出て美味しく飲めます。焼酎やウィスキーで割って飲むと活性酸素をなくす成分が含まれるため、二日酔いに効果があるようです。



アマリリスの豪華な花を楽しみましょう

ヒガンバナ科 ヒッペアストルム属 南アメリカ原産 非耐寒性球根植物（多年草）

今の季節、市内の花屋さんやホームセンターなどでは、大輪で色鮮やかなアマリリスの鉢花や乾燥した休眠球根もたくさん販売されています。購入した休眠球根は今は植えどきです。また、各家庭で休眠させた球根は鉢替えの時期です。豪華に咲かせ、来年も咲かせるためにじょうずに管理しましょう。

《栽培のポイント》

■植え込み・植替え～開花までの管理

・大輪系球根は5～6号、中・小輪系では4～5号のそれぞれ普通鉢に1球植え込みます。植替えの場合は、一回り大きな普通鉢に植替えます。鉢の大きさは球根直径の約2倍を目安にしてください。

・水はけのよい用土（赤玉土4、腐葉土4、火山レキ2）に、緩効性化成肥料を混ぜて球根の高さの1/3が出る程度の浅植えにします。

・最初の水やりは球根の首部にかからないように用土が十分湿るように与えます。その後はいずれも鉢土表面が乾いたらたっぷり与えます。また、1,000倍程度の液肥を7～10日に1回与えます。最初の吸水後40～50日で開花します。

・日当たりよく暖かい窓辺など（20～25℃）で育て、開花後はやや涼しい明るい場所で管理すると花が長持ちします。

・蓋付ポット入りの休眠球根の場合は、購入後にバケツなどで鉢の半分くらいまで水を張り、半日程度鉢を浸して十分給水させてください。また、花後の4～5月に普通鉢に植え替えます。

■花後～休眠までの管理

・花が咲き終わったら花がらを摘み取り、茎がすべて枯れてから葉のつけ根で切り取ります。

・鉢土の表面が乾いたらたっぷりと水を与え、休眠期に入る9月下旬からかん水を徐々に減らします。

・花後は球根を肥大させるために葉を大切にし、9月ころまでカリ分の多い1,000倍程度の液肥を7～10日に1回与えます。新しい葉5～6枚で花芽が形成されます。

・6～9月ころまでは日当たりのよい戸外で育てます。ただし、日差しの強い真夏は半日陰に移動します。土を乾かし休眠させた鉢は、霜が降りる前に室内に取り込み5～10℃で管理します。

（参考資料：北海道新聞社「北で育てる魅力の花」）



展示室の植物（47）

テリハバンジロウ（照葉蕃石榴） フトモモ科 バンジロウ属
ブラジルが原産の常緑の小高木です。現在は世界各地の熱帯地域で果樹として広く栽培されています。日本でも沖縄県や小笠原諸島などで栽培されています。

実が熟すと果肉が赤くイチゴのような香りがあることから、英名をストロベリーグアバといいます。また、テリハバンジロウの変種に果実が黄色いキミノバンジロウ（イエローストロベリーグアバ）があります。このほかに同属で別種の一般的にグアバと呼ばれるバンジロウがあります。

熟した果実はそのまま食べられるほか、ゼリーやジュース、ジャムなどの加工原料に使われます。葉はタンニンなどを多く含むためお茶として利用されています。最近では、育てやすく葉がきれいなことから観葉植物としても人気があります。緑のセンターでも上記の三種類を育てていますのでぜひご覧ください。

（参考資料：誠文堂新光社「最新園芸大辞典」、北隆館「新牧野日本植物図鑑」）

